

I 道徳教育の目標は

学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。道徳的心情は、道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び悪を憎む感情のことです。道徳的判断力は、それぞれの場面において善悪を判断する能力です。道徳的実践意欲と態度は、道徳的心情や道徳的判断力によって価値があるとされた行動をとろうとする意欲や態度です。

II 道徳の時間（道徳教育のかなめ）は、……心にひびく時間になります。

道徳的価値及び人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する時間です。資料を通じて自己を見つめる力を育て、仲間や多くの人々との意見交流を通して自ら生きる規範を育てることです。児童にとって道徳の時間は、自ら生きる指標となる様々な価値と出会い、新たな自分自身と出会う時間でもあります。

III 道徳の内容を4つの視点からとらえると

- 1 主として自分自身に関すること
- 2 主として他人とのかかわりに関すること
- 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関することです。

IV 4つの視点に含まれるすべての内容項目を指導します

- 1 低学年（1・2年）…16項目
特に基本的な生活習慣や善悪の判断、社会生活上のルールを身に付けることです。
- 2 中学年（3・4年）…18項目
特に自主性、協力して助け合う態度を育てることです。
- 3 高学年（5・6年）…22項目
特に自立心、国家・社会の一員としての自覚を育てること。また、なやみや心の揺れ、かっとう等の課題を積極的に取り上げ考えを深められるようにします。

V 道徳の時間の評価は

道徳の時間は、児童の人格そのものにはたらきかけて児童の道徳性を高めるものであるため、数値などによる評価はしません。教師と児童の心のふれあいを通して、児童の道徳性を共感的に理解して評価します。

○ 日々の生活の様子から ○ 道徳の時間に使ったこどもの自己評価 ○ 日記や心のノートから

VI 保護者へのお願い

家庭は、子どもの人格形成の場であり、主体性を育む上で心の支えとなる所です。子どもたちは、礼儀、感謝、思いやりなど人間生活に必要な基本的な道徳的価値を家庭で身に付けます。そして、学校生活の中で、社会性や協調性、社会生活上のルールや基本的モラルなど、道徳的実践力を付けていきます。

学習の中では、道徳の内容を分かりやすく表した資料やワークシート（心のノート等）を用い、道徳性を養っていきます。内容によっては、保護者の方に記入をしていただくこともありますので、ご協力をお願いします。

月	学習内容	学 習 の ね ら い
4	目標をもって 「日付とコトバ」 ちょっとした二人の記念 誠実に明るい心で※	<ul style="list-style-type: none"> ・日付を意識することで、その日为目标にして努力をしようとする心構えをもつ。 ・どんな状況においても、公共のきまりであるかどうかを考えて行動しようとする心情を育てる。 ・常に誠実に行動し、向上心をもって明るい心で楽しく生活しようとする心情を養う。
5	本当の友情とは 「ロレンゾの友だち」 バスの中で フレンドタイム	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに信頼し、理解し合って友情を深め、心から助け合っていこうとする意欲を高める。 ・社会のマナーを守ることの必要性を感じ取り、相手の気持ちを考えながら、公共のマナーを守っていこうとする意欲を育てる。 ・いろいろな友達がいることを知り、仲良くしようとする気持ちを育てる。
6	世界とつながって※ 地域の一員として 「ごみ出しまかせて」 短所を改め、長所をのびして※ 郷土や国土を愛する心を※	<ul style="list-style-type: none"> ・世界には自分と異なる立場の人がいることを理解し、世界の人々の平和と幸せのために努力しようとする心情を養う。 ・身近な集団の中で、自分の役割と責任を果たす実践意欲と態度を育てる。 ・自分の特徴を知って、悪いところを改め、よいところを伸ばそうとする態度を育てる。 ・郷土の文化と伝統を大切にしている人たちの努力を知り、郷土や国を愛する心情を養う。
7	けんきょに、広い心をもって※ 公共のために役立つことを 「二十一世紀をになう若い人たちへ」	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立って考え、自分と異なった立場や相手の過ちなどに対しても広い心で受けとめることができる態度を育てる。 ・勤労の意義を理解し、進んで社会のために役立つようとする心情を養う。
9	本当に必要なものとは 「「ほしい」ってなに？」「必要」ってなに？」 世界平和への思い 「科学は平和のためにある」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返り、本当に必要なものを考えながら生活しようとする態度を育てる。 ・外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善と平和のために努力しようとする心情を養う。
10	懸命に生きる姿 「エイズと闘った少年の記録」 相手の気持ちを理解する 「積極的に聞こう」 自分らしく生きる 「オトちゃんルール」 相手の立場に立って 「しらんぷりはできないよ」	<ul style="list-style-type: none"> ・生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ・互いに信頼し合って、男女仲良く助け合い、友情を深めようとする心情を養う。 ・自分の長所を知り、それを伸ばしていこうとする態度を育てる。 ・誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を養う。

<p>1 1</p>	<p>大いなるものを感じて※</p> <p>礼儀の意味 「親しき仲にも礼儀あり」</p> <p>家族の幸せを求めて※</p> <p>相手の気もちを考えて 「積極的に話そう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分もその一部である自然がもつ、人間の力を超えた摂理や力に畏敬の念をもち、感動する心情を育てる。 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接しようとする態度を育てる。 ・家族の一員として、家族を思い、進んで家族のために役立とうとする態度を育てる。 ・誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を養う。
<p>1 2</p>	<p>人のためにできること 「助け合って生きる」</p> <p>江戸っ子の気配り 支え合いや助け合いに感謝して※</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労の意義を理解し、進んで社会のために役立とうとする心情を育てる。 ・時と場をわきまえた適切な言動を心がける態度を養う。 ・日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、自分にできることをやろうとする態度を育てる。
<p>1</p>	<p>日本のよいところ 「目ざめよ日本」</p> <p>自分の責任 「犬と私の10の約束」</p> <p>正しいと思うことを伝える 「こんなとき、どうする」</p> <p>進んで新しいものを求めて※</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統や芸術を守り育てた人々の考え方と業績を理解し、大切にしようとする心情を養う。 ・自分で決めるという自由な意志を尊重すると同時に、自由を貫く、規律ある態度を育てる。 ・誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正・公平にし、正義の実現に努めようとする態度を育てる。 ・進んで新しいものを求め、工夫して生活していこうとする態度を育てる。
<p>2</p>	<p>社会の一員として 「落書き」</p> <p>よりよい校風を求めて※</p> <p>自分にふりかかる責任 「インターネットの掲示板」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公德心をもって、法やきまりを守り、自他の権利を大切にしてい、義務を確実に果たそうとする態度を育てる。 ・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合い、よりよい校風をつくろうとする態度を育てる。 ・インターネットの掲示板で起きている「なりすまし」の実態を知り、責任をもって情報を発信していく態度を育てる。
<p>3</p>	<p>今、自分のやりたいこと 「目の前にあることを一生懸命やる」</p> <p>生命の不思議 「ヘソのお話」</p> <p>自然の偉大さを知って※</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現のために、目の前にあることを一生懸命努力しようとする心情を養う。 ・生命の誕生にかかわる出来事に触れさせ、進んで自他の生命を大切にしようとする心情を養う。 ・自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしていこうとする態度を育てる。